

革新をつづける伝統を、未来へ。 2016年、東京西川は創業450周年



西川創業450周年

東京西川(西川産業株式会社 本社:東京都中央区日本橋富沢町 代表取締役社長:西川康行(通称:ハーク) ^{やすゆき})をはじめとする西川グループ^(注1)は、2016年に創業450周年を迎えました。

1566年(永禄9年)、桶狭間の戦いから6年後の織田信長が天下制覇の野望を着々と進めていた頃、西川家は近江で創業いたしました。蚊帳や生活用品の行商から始まり、その長い歴史の間には、天災・戦争・経済危機など、困難な状況も数多くありました。しかし、いつの時代も、近江商人の心得である「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を脈々と受け継ぎ、革新と共に危機をチャンスに変えて発展してまいりました。明治20年頃からいち早く販売を始めた“ふとん”は、おかげさまで多くのお客様から信頼いただき、西川ブランドの代名詞となっています。

今日では快適で健康な睡眠を研究し、独自の最先端技術による“眠りの質”にこだわった商品やサービスの開発を続けています。予防医学の分野でもその役割が注目されている睡眠。東京西川では、革新をつづける伝統を受け継ぎ、眠りが持つチカラでより豊かな暮らしの未来を開いていこうと決意を新たにしています。

つきましては、西川の450年の軌跡についてご案内させていただきます。

- 時代と共に革新を続ける～ 西川の経営と成長
- 眠りのチカラで日本を元気に～ 近年の東京西川のトピックス
- 受け継がれる眠りの芸術～ 450周年記念商品「宝相華」1月上旬から限定発売 (価格: 450万円+税)
- 会社概要

注1: 西川グループは、東京西川(西川産業株式会社)、西川リビング 株式会社、株式会社 京都西川、日本橋西川(株式会社 西川)、株式会社 心斎橋西川の5社と、関連会社によって構成しています。

〈一般のお客様からのお問合せ先〉

東京西川(西川産業) ☎03-3664-3964(受付時間: 平日10:00～17:00) <http://www.nishikawasangyo.co.jp>

〈報道関係者様からのお問合せ先〉

■ 西川産業株式会社 担当/寺嶋 真唯・須藤 健二郎 TEL.03-3664-3962 FAX.03-3639-8767

■ PR代理: ㈱杉山PR&プランニング 担当/田岸・立木(ツキ) TEL.03-5468-7791 FAX.03-5468-7792

■ ～時代と共に革新を続ける～ 西川の経営と成長

初代西川仁右衛門が蚊帳や生活用品の行商を始めた、1566(永禄9)年を創業の年と定め、以来、450周年を迎える現在まで営々と商売を営んでいます。「行商」によって財をなし、江戸・日本橋に出店、次々に支店を出し、幕府御用達にまでなり、明治維新、太平洋戦争などの数々の試練を乗り越えてまいりました。その持続の秘密は、西川家に伝わる近江商人の特長といわれる「儉約」と「開拓」の気質や店是として残された理念を守り、伝え、そのDNAが代々受け継がれていることです。

【「機を見るに敏」時代の先を読む先見性】

◎ 後の繁栄を見越し近江八幡へ出店

初代西川仁右衛門が近江で蚊帳や生活用品の行商を始め、1587(天正15)年には近江八幡町に店を開き、販路を拡大。この近江八幡への出店は、1585年に豊臣秀吉の甥である秀次が近江八幡山城を築城し、後の繁栄を見越したものでした。

◎ 江戸幕府の始まりと共に、消費の中心地 江戸・日本橋へ出店

その後、豊臣家が徳川家に敗れ、幕府が江戸に移ると、蚊帳と畳表を専門に扱う支店を大阪ではなく、消費の中心地になりつつある江戸・日本橋に1615年、いち早く出店しました。



現在も近江八幡の町に残る西川本家

【創意工夫の精神】

◎ 萌黄色に紅布の縁がついた近江蚊帳を考案

今日、蚊帳といえば萌黄色に紅布の縁がついたもの(近江蚊帳)をイメージしますが、そのデザインを考案したのが、アイディアマンといわれた二代目甚五郎。寛永年間、箱根越えの道々、「啓示」を受けた二代目は染色法を研究し、商品化に成功。このモダンなデザインが評判となり、近江蚊帳といえば、「緑と赤」が代名詞のように定着しました。



近江蚊帳

【卓越した経営感覚】

西川家「中興の祖」と呼ぶに相応しい業績を残した七代目利助。新興商人が力を持ち始めた田沼時代と、緊縮財政の「寛政の改革」時代において、経営基盤の安定を図りました。

◎ 日本最古の決算書が記載された勘定帳

三代目利助が記した売上帳簿の内容が現存する日本最古の帳簿と言われています。

七代目は、創業以来の古い資料を整備・複写。現存する「最古の勘定帳」と言われる1667年のものは、この頃整備され総目録を作成した成果といえます。西川家が江戸時代初期からすでに「計数管理」による経営を行い、在庫管理や利益管理の概念のもとに経営されていたことを表す証拠です。



勘定帳

◎ 自己保険システム・積立金制度の創設

江戸時代を通じて、「火事と喧嘩は江戸の華」といわれる程、江戸市内に火事が多発。西川家の2店舗も類焼。こうした不慮の事故・災害などの復旧費用のために、純益の中から、普請金、仏事金、用意金の3名目の積み立てを行いました。資金は確実な担保をとって貸し付け、その利潤で土地・家屋などを購入し、賃貸に出しました。1799(寛政11)年には、積み立ての目的、資金の用途と運用方法までを「定法書」として明文化しました。



定法書 1799(寛政11)年

◎ グループ体制強化策

三代目利助の頃からスタートしていた成績優秀・永年勤続の従業員に分家の資格を与え、別家として独立させるシステムを「定法目録」として明文化。本家と親戚、別家の3者共同責任制による相互チェック運営を確立し、グループの存続と体質強化を図りました。

◎ 日本初！ボーナス制度「三ツ割銀制度」の制定

「三ツ割銀制度」と呼ばれる日本で初めてボーナス制度を制定。1789(寛政元)年以降、年2回の決算を終えると純益の3分の1を従業員に分配しました。ボーナス制度は従業員の忠誠心を養い、やる気を向上させ、売上アップに貢献しました。



三ツ割銀預り帳

【ターニングポイント「ふとん」の販売】

◎ 画期的！1887(明治20)年頃 自宅で作られていた「ふとん」を商品化

明治20年頃から販売アイテムに「ふとん」を加えたことが西川家のターニングポイント。それまで買うものではなく、自家で作るものであったふとんを販売したのは、当時では画期的なことでした。その後、ふとんに限らずこうした自家自給品の商品化は徐々に進み、消費生活の構造を大きく変えていきました。



明治時代の西店(つまみだな)

【 暗い経済環境を乗り切る ゆるぎない決断と判断 】

大正から昭和初期は日本の歴史上、激動の時代。関東大震災の莫大な被害や世界恐慌が日本経済に暗い影を落とし、やがては日本は軍拡、戦時体制へと流れていきました。十二代目、十三代目はこうした経済環境を乗り切るために骨身を削りました。

◎ 海外進出

1917(大正6)年に、シンガポールに蚊帳を輸出して成功。その後、韓国、東南アジア諸国への輸出は順調に推移。1930(昭和5)年にはアフリカ、南米諸国への輸出を行い、この他、蚊帳の生地や毛布も輸出し、海外支店も次々に誕生しました。

◎ 内部組織の改革:能力主義を採用

アメリカ留学で近代経営感覚を学んだ十三代目甚五郎は、1920(大正9)年、従業員の人事考査システムを作り、従来型の年功序列制から能力主義を積極的に採り入れました。

◎ 西川チェーン結成

1960(昭和35)年に日本で初めてのボランタリーチェーン「西川チェーン」を発足。現在、350店舗以上が加盟。西川のふとんが全国で購入できる体制を確立しました。



完成したばかりの西店(左奥)



関東大震災すぐの日本橋 西店がない

【 健康産業への変貌 】

昭和から平成の時代は、「快適な睡眠」「睡眠の質」を探索し、健康志向ニーズに対応する商品政策と販売戦略を推進。

◎ 寝具革命！ 1958(昭和33)年 合繊わたふとん誕生

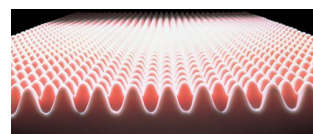
ふとんの打ち直しを必要としない「合繊安眠デラックスわた」と呼ばれたふとんわたは、その品質と真綿に似たやわらかな感触、メンテナンスフリーの手軽さなど、数々の魅力を備えた商品として、発売と同時に爆発的な売れ行きを示しました。



昭和10年当時の商品カタログ

◎ 健康志向ニーズをつかむ 1971(昭和46)年 ムアツふとんの販売

王貞治氏をCMキャラクターに起用し話題となったムアツふとん。この成功により、市場のニーズが健康にあることをいち早くキャッチ。十四代目甚五郎は、健康志向のニーズに対応した商品政策と販売戦略を推進しました。



ムアツふとん

◎ 業界初！ 日本睡眠科学研究所

1984(昭和59)年、「睡眠を科学する」研究を業界初の試みとして日本睡眠科学研究所を設立。大学・研究機関などの外部機関とも連携・協力して様々な研究活動を開始。ここでの基礎研究が商品化への具体的なアイデアの基となり、数々のヒット商品を生み出しています。



日本睡眠科学研究所

【 主な活動内容 】

- ◆ 睡眠生理の研究
- ◆ 寝室環境の研究
- ◆ 寝床内(身体と寝具の間の空間)の研究
- ◆ 寝具の研究開発

【 主な開発商品例 】



「整圧®敷きふとん」
西川の最適寝具理論に基づいて
開発された健康敷きふとん。
*PAデザイン賞受賞



「ドクター セラ ルナ」
リラクシングサウンドを内蔵し
電位・温熱機能を備えた
家庭用医療機器。



「もっと肩楽寝」
医師が勧める健康枕。
シリーズ累計販売数
300万個突破。



「エアークラウド」
敷き寝具の上に1枚プラスする
だけで心地よく健やかな眠りを
サポートするオーバーレイ

◎ 睡眠エキスパートの育成

1999(平成11)年、独自の資格「スリープマスター」制度を導入。睡眠のメカニズムの専門知識を持ち、お客様一人ひとりに合った寝具を勧めることができるよう講座を開設。現在、講座受講人数は760名以上にのぼります。

さらに、一部のエキスパートは、全国で眠りのメカニズムに関するセミナーや、快適な睡眠環境づくりのコンサルティングを行い、テレビ・ラジオ・雑誌などのメディアでも幅広く活躍中です。



東京西川 スリープマスター

【ホームファッションの提案】

◎ 業界初！1971(昭和46)年より海外デザイナーと提携

1971年、「デザイン性にすぐれた寝具が必要」と、世界に名を馳せたエマニュエル・ウングロとデザイン提携し、ファッションな寝具の開発を開始。また、英国王室御用達のサンダーソン社と業務提携のもと多色プリントの伝統的な花柄のファブリックを輸入販売。1990年からはライセンス契約によるインテリア・ベッド用品を展開し、現在に至っています。さらに、現在ではすっかり定着している北欧デザインも、東京西川では40年以上前から日本に紹介。1973年、フィンランドのマリメッコ社製品のインポートと同時に日本国内でのライセンス製品の生産を開始し、一大センセーションを巻き起こしました。

現在も、ウェッジウッド、アクアスキュータム、エトロ、マタノアツコ、ニナ・リッチなど様々な有名ブランドとの連携を行っています。

【展開ブランド】 ウェッジウッド / モリス・ギャラリー / サンダーソン / アクアスキュータム / エトロ / マタノアツコ / フィンレイソン / アナスイ / ハーレクイン / ニナ・リッチ / ディズニー



■ ～眠りのチカラで日本を元気に～東京西川の近年トピックス

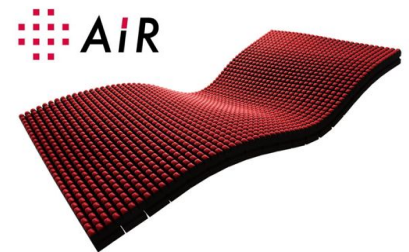
東京西川では、長年にわたり培ってきた“眠り”の知識と技術を核に、快適な暮らし、スポーツ、旅行、そして予防医療や介護のステージで、寝具・寝装品の新たな価値を提案しています。

【スポーツと寝具の融合】

◎ トップアスリート達に支持される「エアー」

スポーツ時のベストなパフォーマンスを実現するには、トレーニングや食事での栄養管理と共に、質の高い睡眠や休息が不可欠です。[エアー]は、トップアスリートをはじめ、スポーツを愛する多くの方々からご好評をいただいているスリーピング・コンディショニング・ギアのシリーズ。寝具にこれまではなかった、機能性を可視化した斬新なデザインが国内外で高い評価を受け、様々なデザイン賞を受賞。独自の立体構造で、快眠に求められる条件を満たし、質の高い眠りへと導きます。

また、東京西川では、睡眠環境を改善しパフォーマンス向上に繋げていただきたいとの想いから、多くのトップアスリートの快眠をサポートしています。現在のサポート人数は500名以上。一人ひとりの身体にあった寝具の提供や、快眠についてのセミナー開催など、“眠り”を幅広くサポートし、アスリートの方々から厚い信頼をいただいています。



田中将大選手の枕とマットレスの測定

【一人ひとりの身体にあった寝具の提案】

◎ パーソナル・フィッティングをベースにした「&Free(アンドフリー)」

2015年春にデビューした「&Free」は、一人ひとりの身体に合った寝具を提案するパーソナル・フィッティングをベースに、家族の快眠環境をサポートするトータル寝具ブランド。人間工学に基づいた高機能なマットレスやオーダーメイド枕、こだわりを反映する羽毛ふとんや真綿ふとんのオーダーメイド、カバーリング、家庭用医療機器、ベビー寝具など、年代・性別によって異なる様々なニーズに応える、質の高い寝具バリエーションを揃えています。

& Free
Tokyo Nishikawa 1566



【快眠の広がり】

◎ 飛行機内、クルーズ客船、旅館・ホテル…どこでも上質な眠りを

東京西川の寝具は、2013年より日本発アメリカ・ヨーロッパ航路のANA国際線ファーストクラス・ビジネスクラスに採用。また、飛鳥Ⅱの世界一周クルーズにてCスイートルームの1室でお客様が利用され、その他老舗旅館や有名ホテルなどで一流のおもてなし寝具としても採用されています。

【世界屈指の研究機関と共同研究】

◎ 寝具が睡眠に及ぼす影響を科学的に研究

東京西川では、現在、筑波大学・国際統合睡眠医科学研究機構 International Institute for Integrative Sleep Medicine (WPI-IIS)と共同研究を行っています。筑波大学・国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIS)と、当社研究機関・日本睡眠科学研究所と共同で、寝具が睡眠に及ぼす影響をヒトで科学的、客観的に研究することを目的に、体圧分散性、寝姿勢が異なる寝具を用い、寝具が睡眠に及ぼす影響を正確に評価してまいります。



■ ～受け継がれる眠りの芸術～ 450周年記念商品 ^{ほうそうげ}「宝相華」 1月上旬から限定発売

創業450周年を記念し、至福の眠りをお届けするため、極上の天然素材と卓越した技術によって作り上げたカシミア・アイダーダウン羽毛掛けふとん「宝相華(ほうそうげ)」を、2016年1月上旬から発売いたします。全国の百貨店、西川チェーン専門店で数量限定で展開いたします。

「宝相華」は、幻の繭といわれ、皇室の寵愛を受けて飼育されている、非常に希少価値の高い蚕“小石丸”のシルク生地を側地に使用。詰めものは、下面に保温性・弾力性ともに世界トップレベルの希少な羽毛“アイダーダウン”、上面には極細繊維で大変軽く暖かな“ホワイトカシミア”の中綿を使用し、“小石丸”の艶やかなシルク生地で包み込んで仕立てました。デザインは、創業670年を迎え、現在も宮内庁御用達として宮中装束を調進している高田家当主24代 高田倭男氏の監修のもと制作いたしました。正倉院の宝相華の紋様を現代的感覚で再現し、繊細に新しい芸術へと昇華したまさに至福の逸品です。



カシミア・アイダーダウン羽毛掛けふとん 「宝相華」

〔発売時期〕	2016年1月上旬から数量限定発売
〔本体価格〕	¥4,500,000+税
〔組成〕	ふとんがわ: 絹100% 詰めもの: 上面ノホワイトカシミア1.0kg 下面ノアイダー0.8kg 計1.8kg
〔サイズ〕	150×210cm(SL)

■ 会社概要

社名	西川産業株式会社 (通称 東京西川)
本社	〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町8-8
代表者	代表取締役会長 西川 甚五郎 代表取締役社長 西川 康行(通称 八一行)
創業	1566年(永禄9年)
設立	1947年6月(昭和22年)
資本金	9億150万円
売上高	344億円(2015年1月期)
事業内容	○ 繊維製品製造卸売業(寝具、寝装品、インテリア用品、ベビー用品) ○ 介護用品、介護機器、健康機器の製造卸売業 ○ 宝石、貴金属の卸売業 ○ 家具、室内装飾の工事請負(家具、室内装飾、敷物一式) ○ 建設工事請負(建築工事、内装工事一式) ○ 輸出入業(繊維製品、わた) ○ 太陽光発電事業および売電事業

関連会社	西川リビング 株式会社 株式会社 西川 西川テックス 株式会社 西川ロジスティクス 株式会社 西川ベッド製造 株式会社 株式会社 東京西川コーポレーション
------	--

株式会社 京都西川 株式会社 心斎橋西川 日本橋西川ビル 株式会社 西川レベックス 株式会社 西川協保 株式会社
--

since 1566
450th
ANNIVERSARY
おかげさまで、
西川創業450年。
東京西川